

【主な出来事】

●IMF代表団がモルドバを訪問し、現在モルドバで実施中のプログラムのレビューを実施。プログラムは概ね成功裏に実施されたと評価しつつも、政治的不安定、政策の変更、改革疲れ等のリスクがあり、モルドバに対する信用の低下、海外からの資金調達の選択肢の減少などにつながる可能性を指摘した。

1. 内政

▼議会補欠選挙の候補者出そろ

・11日、3月15日に予定されるブンチェシティ地区における議会補欠選挙の候補者7名が出そろった旨発表された。民主党、社会党、PAS、ショール党、統一党、自民党、無所属が登録した。

▼民主党・社会党間の連携の動き

・12日、民主党と社会党が定期的に開催する会合にドドン大統領及びキク首相が同席した。フィリップ民主党党首は、民主党はあらゆる政治勢力と対話を行っており、いつでも政権を担う用意がある旨述べた。民主党として大統領選挙に候補を立てるかについては党内で結論が出ていないとした。

大統領

▼ドドン大統領、EU諸国大使の活動を批判

・14日、ドドン大統領は、EU諸国の大使のうち少なくとも3～4人の大使はブリュッセルとの対話を妨げ、間違った情報を送っており、モルドバ政府は財政支援を受けるべきではないと主張している旨発言した。また、何人かの大使は必要以上にPASやDAを支援しているとした。

議会

▼チョコイ外務・欧州統合相への不信任決議案の提出

・13日、PAS及びDAは、チョコイ外務・欧州統合相への不信任決議案を議会に提出した。チョコイ外務・欧州統合相が、トランスニストリア紛争に関し、ロシア軍が紛争停止に役割を果たしたと述べたことについて外相の発言として問題であるとした。

新型コロナウイルス関係

・3日、外務・欧州統合省は、モルドバ国民1人が仏及びルーマニアの在外公館の援助を受けて中国武漢からチャーター機で脱出したと発表した。航空機代金はEU及び仏が負担した。

・7日、横浜港に停泊中のクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号にモルドバ国民2名が乗船していることが明らかとなった。

・7日、チョコイ外務・欧州統合相は Zhang 中国大使と会談し、政治経済分野の協力案件について協議を行うとともに、新型コロナウイルスを巡る状況について議論を行った。中国に留学中のガガウズ自治区出身学生6人が帰国したことが報告された。

2. 外政

▼ハンガリー外相のモルドバ訪問

・4日、モルドバを訪問中のシーヤールト・ハンガリー外相は、グレチャヌ議会議長と会談し、戦略的パートナーシップにかかる文書の策定、モルドバの欧州統合に関するアドバイザーの派遣について話し合ったほか、貿易問題や合併会社の設立、ハンガリー輸出入銀行による融資等について意見交換を行った。また、第4回経済協力委員会を5月に開催することに合意した。シーヤールト外相は、欧州連合協定の実施とEEUへのオブザーバー・ステータスを両立させるモルドバのバランス外交を支持する旨述べた。

・また、ポボビッチ教育・文化・研究相と会談したシーヤールト外相は、2020～2022年の教育分野の協力覚書に署名した。これによってハンガリーは40名の留学生枠を提供することとなる。

・チョコイ外務・欧州統合相との会談では、外交官の研修に関する協力覚書及び情報交換に関する協力覚書に署名した。

▼スウェーデン開発・国際協力相のモルドバ訪問

・11日、キク首相は、モルドバを訪問中のエリクソン・スウェーデン開発・国際協力相と会談し、エネルギー分野の特に再生可能エネルギー、IT、汚職対策、人身売買、人権、環境、トランスニストリア和平等の問題について話し合った。

▼チョコイ外務・欧州統合相のラトビア訪問

・12日、チョコイ外務・欧州統合相はラトビアを訪問し、リンケビッチ同国外相と会談し、貿易・経済協力、政治対話、欧州統合、司法改革等について話し合った。

▼ドドン大統領、ミュンヘン安全保障会議に出席

・14日～15日、ドドン大統領は、ミュンヘン安全保障会議に出席した。ドドン大統領は、会合のマーゼンでラデフ・ブルガリア大統領、ラマ・アルバニア首相、アリエフ・アゼルバイジャン大統領、パシニャン・アルメニア首相らと会談したほか、マクロン仏大統領、ポンペオ米国務長官らと立ち話を行った。

3. 経済

▼就労査証発給手続きの簡素化

・4日、キク首相は、移民局及び公共サービス庁等の職員に対し、モルドバでの就労ビザ発給の手続きを簡素化

するよう指示した。今後、国内で大規模な道路建設プロジェクトが動き出すことを見据え、建設会社を中心に労働者不足に直面することが予想されているための措置と説明された。

▼IMFによるプログラム・レビュー

・5日、モルドバを訪問中の IMF 代表団は、モルドバに対する最終プログラムのレビューを終了したと発表した。2019年末までに全ての条件は満たされたとし、3月のIMF 理事会で承認されれば、最後のトランシェ20百万ドルが利用可能になるとし、レビュー結果概要として以下を報告。

・プログラムは概ね成功しており、銀行システムは改善されるとともに、金融セクターのガバナンスが強化され、マクロ金融の安定が確立された。プログラム下での各種改革は、モルドバの信頼性を高め、経済回復をもたらした。

・2019年の実質 GDP 成長率は4.2%となり、今後中期的には4%で推移する。インフレ率は、12月に7.5%となったが、2020年後半には5%台に落ち着く見通し。財政赤字は対 GDP 比1.5%であるが、歳入不足の面よりも歳出過小が理由となって、プログラムの目標を上回っている状況。公的債務は、対 GDP 比約30%と低いレベル。収益性の高い銀行セクターがモルドバの経済の成長を支えた。個人及び公的資金の市場流入によって、資金繰りは問題なかった。モルドバ・レイのレートも安定していた。

・一方、経済は、政治の不安定、政策の変更、または、改革疲れなどのリスクを伴っており、モルドバの信用を下げ、海外からの資金調達の選択肢を狭める可能性もある。主要な貿易相手国の長期にわたる経済減速という地域的及び世界的な悪影響も排除できない。2020年予算は、インフラの大規模なニーズに対応するため、成長に適した拡大予算となっているが、その実施と資金調達ができないというリスクは依然として大きい。海外からの資金調達が期待を下回る場合には、緊急時対応計画を策定する必要がある。

・経済安定化の取り組みが成功しているにもかかわらず、広範囲における重要なガバナンスと制度上の脆弱性が、生活水準を高めるための大きな障害となっている。汚職と法の支配の脆弱性のため、規制の枠組みは適切に施行されておらず、銀行セクターの監視は大幅に進歩しているものの、非銀行金融セクターの監視が弱いこと、反マネーロンダリングとテロ対策に対応する枠組みが完全でないこと、銀行不正疑惑に対処する資産回復の進捗の改善が見られないことが懸念される。これらの脆弱性に対処するためには、早急に資本を蓄積し、大規模な国外移住による労働力と人的資本の流出を食い止め、生産性を向上させることが必要である。

▼トルコ企業、ジュルジュレシティ港への投資に関心

・5日、トルコ最大の産業グループ Yildirim が、ジュルジュレシティ国際自由港のオペレーションに関心を示していることが明らかになった。

▼国立銀行、今後のインフレ予測を発表

・5日、国立銀行は、インフレに関する報告を発表した。2019年第4四半期に、年間インフレ率は上昇を続け、12月に7.5%を記録した。その要因は、主に食品及び加工品の価格上昇と需要の高まりによるものとした。2020年第1四半期は最大6.8%に達するが、その後2021年初頭まで継続的に減少し、年率5%±1.5%の範囲で推移し、最小レベルは3%となると予測。

▼2019年貿易統計

・14日、国家統計局は、2019年のモルドバの貿易に関する統計を発表した。

・輸出総額は28億ドル（対前年比2.7%増）。輸出内訳は、機械・輸送機器23.3%、食品・家畜22.9%、非食品原料10.7%、飲料・たばこ7.9%、その他加工品20.9%。対EU輸出は65.9%、対CIS輸出は15.6%。

・輸入総額は58億ドル（対前年比1.4%増）。輸入内訳は機械・輸送機器24.4%、工業製品19.4%、鉱業燃料15.8%、化学品14.4%、食品・家畜10.2%、その他加工品10.8%。EUからの輸入は49.5%、CISからの輸入は24.1%。

・対日輸出額は1.9百万ドル（前年比23%増）、日本からの輸入額は51.7百万ドル（前年比2.6%減）。対日赤字は49.8百万ドル（対前年比3.4%減）。

・貿易赤字は、総額31億ドル（対前年比0.2%増）。

経済協力

▼米国の支援でフンチェシティに消防署を新設

・2日、米国からの50万ドルの支援によりフンチェシティ県に近代的な消防署が開設された。モルドバ側からも総額210万レイ（12万ドル）の支出あり。

▼スイス、地方行政への市民関与プロジェクトに560万ドル支援

・12日、地方行政への市民関与を進めるプロジェクトのためのスイス開発庁との覚書締結のための交渉開始が議会外交委員会で承認された。プロジェクトは総額5.9百万スイスフラン（560万ユーロ）となる。

4. トランスニストリア

▼トランスニストリアへの海外送金

・11日、2019年のトランスニストリア地域への海外送金が104百万ドルとなり、対前年比で9.7%の増となったことが明らかとなった。主な送金元としては、67.1%がCIS諸国から（うち66%はロシア）、15.4%がEU諸国からのものとなっている。

（了）